**　　　　　　　　　　　　　　　　　　**

**2024.10.10**

　入間市小学校（小学生）交流どか点ティーボール選手権大会

**競技の約束について**

目的 どか点ティーボール大会を通して、小学生同士の交流と親睦を深め、心身の健全育成を図ることを目的とする。

目標 ①笑顔いっぱいティーボールを体感すること。

 ②ティーボールを通して、打つ、走る、捕る、投げるという運動の基本動作を

楽しく学ぶこと。

 　③人との関わり方を学び、社会性を養うこと。

部門 **３**部門　1・2年生の部、3・4年生の部、5・6年生の部

ﾁｰﾑ編成 8名の選手と保護者（または引率責任者）とする。

ただし、選手の少ないチームは会場にて混成チームを編成する。

競技場 （競技場図参照）

1. 塁間の距離は、1・2年生の部は12m、3～6年生の部は14ｍとする。

②塁はベース又はコーンとする。ただし、触塁はしないで外側のランニング

ゾーンを走る。

1. 本塁、バッターズサークル（安全確保）は、本塁プレートを基点の半径3ｍ

　に円を描くようにラインを引く。

④本塁は、本塁プレート上またはその位置に置いたバッティングティーとする。

⑤本塁での得点は、バッターズサークルに打者が入ったときに得点とする。

⑥守備ラインは、一塁三塁と本塁二塁を結ぶ対角線が交わる点を中心とし、一塁

の2ｍ延長した地点から、三塁の2ｍ延長した地点まで弧を描くように引いた

ラインを「内野ライン」とする。

⑦「外野ライン」は、内野ラインから3ｍ延長した一塁側から三塁側まで、弧を

描くように引いたラインとする。

⑧「ホームランライン」は、本塁を中心に30ｍとする。一塁側から三塁側まで、

弧を描くようにラインを引く。本大会では採用しない。

 　⑨バッティングコーン後方5ｍに打者チームベンチとして安全ラインを引く。

約束

①打者は、思いきりボールを打つ。バントは禁止。

　　　　 ②打者は、打った後、バットをフープかコーンの中に入れて走る。

③打者走者は、塁の外側のランニングゾーンをしっかり全力で走る。

④守備者は、打ったボールを捕るために動く。

⑤ボールを捕った選手は、本塁近くにいる本塁手（選手）へ返球する。

⑥本塁手（選手）は、ボールをバッティングティー（コーン）の上に乗せる。

⑦ボールをバッティングティー（コーン）の上に乗せ手を離したとき、打者の回った塁の数が得点となる。得点は審判員が宣告する。

⑧指導者（ティーボールティーチャー）と打者チームの全選手は、打者走者が一

　 塁（ランニングゾーン）コーンを回ったら「1点」、二塁なら「2点」、三塁なら「3点」、本塁なら「4点」、と数える。

 　⑨打者チームの全選手は、本塁・バッティングコーン後方5ｍの打者チームベン

　　　　　 チライン（安全ライン）後方で応援する。

⑩内野手は4名、外野手は3名、本塁手1名とする。

なお、守備選手は対戦チームと同数とする。

⑪打者はフリーでボールが本塁に戻るまで何回でも点数は加点する。

用具 ①　バッティンティーまたはコーン1本。塁（ベース又はコーン）3本。

 ②　11インチ（グリーン）またはインドア用ティーボール・オレンジ）2個

1. フープかコーン1個（打者がバットを入れる）
2. 用具は、日本ティーボール協会公認用具とする。

備考 　　試合球、用具、試合方法など、要望があれば指導者を派遣します。

参考：競技場図

